



なぜ、いま、「仕事と生活の調和」が必要なのか

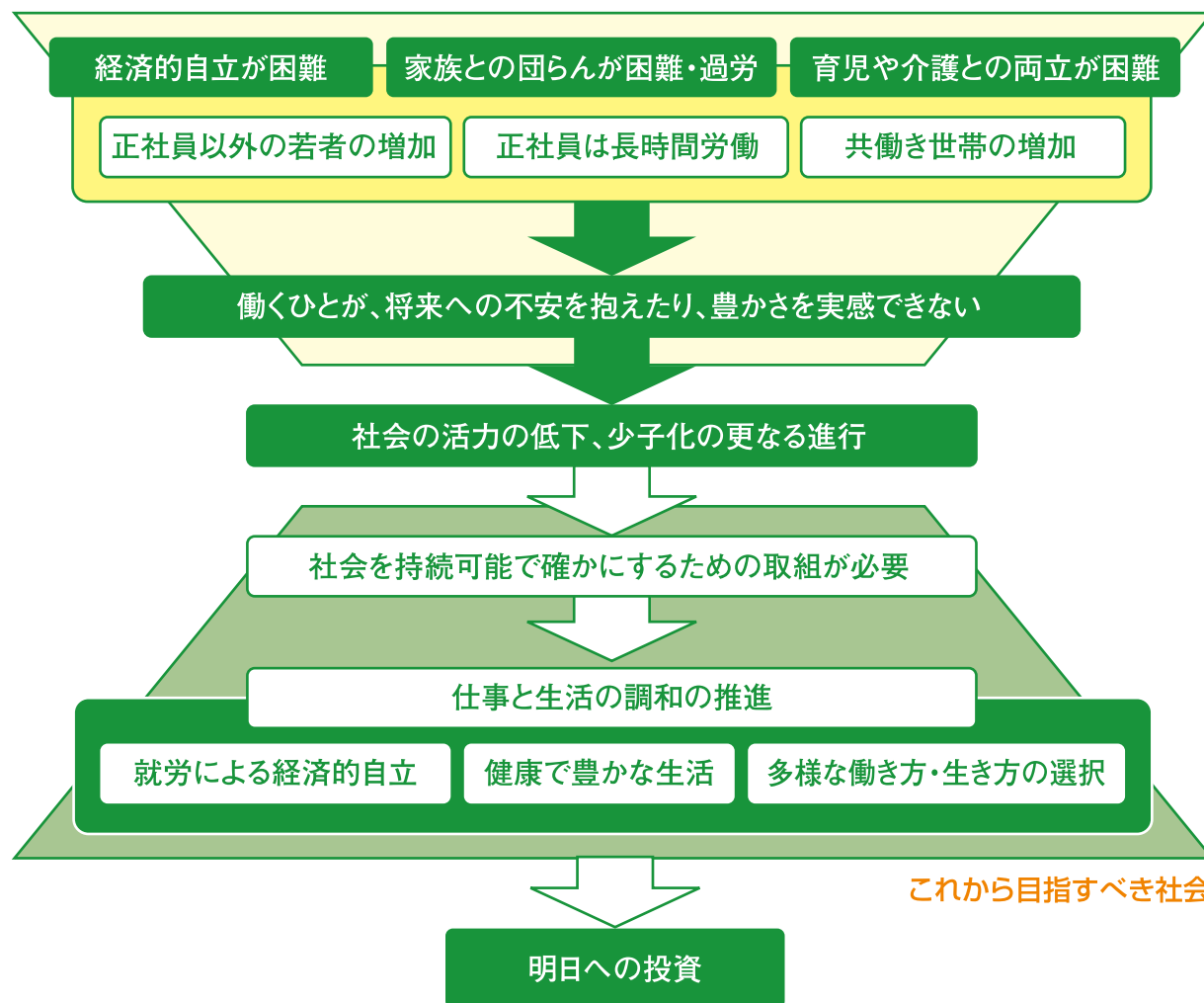
近年、日本の「働くこと」を取り巻く環境は、「働きたいのに働く場がない」「仕事が忙しすぎて生活に豊かさが実感できない」「仕事と育児、介護の責任が二者択一になっている」など、大変厳しいものとなっています。

そして、これらの状況が、働く人々の将来への不安や、豊かさを実感できない大きな要因として、社会の活力の低下や少子化・人口減少を引き起こしています。

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進により、仕事と生活の調和も充実した暮らしを実現することは、社会環境を改善し、日本の将来を確かなものにします。

【現状と目指すべき社会】

現在の「働くこと」を取り巻く環境



Point



仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）とは、「国民一人ひとりがやりがいを持ちながら、仕事上の責任を果たす」ものであり、決して働くことの意義を否定するものではありません。働く方が意欲を持って働きながら豊かさを実感して暮らせるよう、多様な選択が可能な社会を作ること、つまり、「しっかり働き、豊かに暮らせる社会」を目指すことが、日本の将来を考える上で必要なことと言えます。